

令和7年11月4日

飯能市長 新 井 重 治 様

飯能市総合振興計画審議会
会 長 熊 田 俊 郎

第6次飯能市総合振興計画基本構想(案)について（答申）

令和7年9月29日付け7飯企画発第259号で諮問のありました第6次飯能市総合振興計画基本構想（案）について、慎重に審議した結果を別紙案のとおり答申いたします。

なお、本基本構想の将来都市像を実現するに当たりましては、下記の事項に十分配慮の上、各施策を着実に実施し、好循環と持続可能性を具現化した真の森林文化都市が実現されることを期待いたします。

記

- 1 策定過程において、市民と市職員が意見を交換し合うなど、参加・協働のプロセスを確保した点は、市政運営の透明性と信頼性を高める上で極めて重要であり、評価すべき取組であるため、引き続き様々な場面で展開していただきたい。
- 2 歴史・自然・文化をはじめとする本市の地域資源を活用し、本市のアイデンティティの維持・強化を図るとともに、次世代に引き継ぐ取組を実施していただきたい。
- 3 人口減少・少子高齢化への不安が高まる現状を踏まえ、子育て支援をはじめとする魅力的な取組を効果的に周知するとともに、交通ネットワークの維持など喫緊の課題に対する取組も積極的に発信し、市民一人一人が自らの地域の持続性について真剣に考えてもらえるよう、まちづくりに対する市民意識の醸成を図っていただきたい。
- 4 地域の持続可能性を高めるため、まちなかと山間地域のそれぞれの持つ価値を発揮させるとともに、相互の良さを最大限に生かしたまちづくりに取り組んでいただきたい。